

血漿分画製剤の輸出について  
一般財団法人 化学及血清療法研究所

- 1 国内自給を優先し、企業経営上の判断を踏まえた上で、未利用中間原料の活用により輸出の可能性のある製品の販売名
  - ・ ノバクトM静注用 500 単位/1000 単位/2000 単位
  - ・ バイクロット配合静注用
  - ・ 注射用アナクトC 2,500 単位
- 2 血漿分画製剤の輸出が可能になった場合に想定される企業経営上のメリット
  - ・ 未利用中間原料の有効活用
- 3 （1で販売名を回答した場合）血漿分画製剤の輸出に当たっての企業経営上の課題
  - ・ 安定供給への対応（一定量の未利用中間原料の確保）
  - ・ 収益につながる販売価格の設定
  - ・ 輸出国での薬事対応等、輸出に伴うコストへの対応
  - ・ 海外市場における販路の確保
- 4 国内需要の確保のための輸出貿易管理令の統制を緩和することについて自由意見

本統制の緩和が行われることで、国内献血を原料とした血漿分画製剤の輸出が可能となるが、企業としては上記の課題をクリアすることが輸出の前提条件となる。